



スローガン  
「幸せ  
あふれる  
北小」  
～私も幸せみんなも幸せ～

# はぴねす

## 多数のご協力に感謝

6月1日(日)は、北小にとって特別な一日となりました。この日は、北小恒例の樹木伐採作業に加え、校内美化作業も合わせて実施しました。

早朝から、楠本造園様と北クラブ有志の皆様が、暑い中、樹木の伐採と運搬作業にご尽力くださいました。そのおかげで、校庭は大変すっきりと見通しが良くなりました。長年手入れが行き届かなかった場所も、皆様の熟練の技であっという間にきれいに、本当にありがたい限りでした。

また、町民一斉清掃を終えられた保護者の皆様と子供たちが、10時から校庭の除草作業や校舎内の美化作業に加わってくださいました。普段、なかなか手の回らない場所や、子供たちや職員だけでは難しい高所の窓拭きなど、細部まで丁寧な作業をしていただき、校舎全体が見違えるようにきれいになりました。

皆様のご協力のおかげで、子供たちは週明けから、より一層気持ちのよい環境で学習や運動に取り組むことができました。学校が美しく保たれることは、子供たちの学習意欲の向上にも繋がると確信しております。今回の作業にご参加くださいました皆様、本当にありがとうございます。地域の皆様の温かいご支援にも、心より感謝申し上げます。



## 読み聞かせ隊の皆さん、ありがとうございます！

今年度も、子どもたちが楽しみにしていた「読み聞かせ隊」の皆さんによる朝の読み聞かせが始まりました！

学校の先生以外の方に本を読んでもらう機会は、子供たちにとって貴重な体験です。ボランティアの皆さんの温かいお気持ちとご協力に、心から感謝申し上げます。



今回は1年生から3年生の子供たちのために、読み聞かせをしてくださいました。絵本や紙芝居、時にはなぞなぞの本など、子供たちが目を輝かせて夢中になるような、楽しい本を選んで読んでくださり、豊かな時間を過ごすことができました。

読み聞かせを通して、子供たちは本の世界の楽しさを知り、想像力を大きく広げていきます。これからも「読み聞かせ隊」の皆さんのご活動が、子供たちの心の成長に繋がることを願っています。

## 畑の先生、ありがとうございます！3年生の芋差し体験

6月4日(水)に、3年生が総合的な学習の時間で芋差しを体験しました。初めて芋差しをする子も多く、最初は戸惑いながらも、地域ボランティア「日並交友会」の皆さんの温かいご指導のおかげで、楽しく活動することができました。日並交友会の皆さんは、この日のために畑の準備や畝づくりをしてくださり、芋の苗の植え方も丁寧に教えてくださいました。子供たちは、柔らかい土の感触を楽しみながら、一本一本丁寧に苗を植えていきました。



この貴重な体験を通して、子供たちは芋がどのような育つのかを学ぶだけでなく、地域の方々の温かい心に触れることができました。秋の収穫が今から楽しみです。日並交友会の皆様、本当にありがとうございます。

## ついでに

「お天道様が見ているよ」これは、私が子供の頃によく祖母や両親から言われた言葉である。周りでも見えていなくても、悪いことをした時に心に留めておくように、という意味が込められていた。

私は現在、左底地区の役員として、年に2期に分けてゴミステーションの監視を担当している。この役目を引き受けて、町役場が町内にある約760箇所すべてのゴミステーションのゴミ出し状況を把握していることを知り、大変驚いた。その主な活動は、各地区のゴミステーションで分別が不十分な場所へ指導に入ることだ。この2年間、監視と指導を続けてきたが、残念ながら分別ができていない場所はまだほとんど同じ傾向にある。その理由は様々考えられる。

- ・ 分別の意識が低い。
- ・ 分別の仕方がわからない。
- ・ ゴミ出しの曜日を間違えている。

他の地域からゴミを持ち込んでいる。など。  
全ての場所に当てはまるわけではないが、分別が守られていないゴミステーションの多くは、車を横付けしやすい場所にある。「誰も見ていないから大丈夫だろう」という気持ちがあるのかもしれない。しかし、やはりここでも「お天道様は見ている」という感覚が大切だと思う。まずは私たち大人がこの意識を持ち、子供たちにも伝えていきたいものである。日々の小さな行動が、より良い地域づくりに繋がると信じている。